※令和３年度以前入学生用

学校番号	3038

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂版　古典Ａ　大鏡　源氏物語　諸家の文章（第一学習社）						
副教材等	『体系古典文法』（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目は、古典を読むことを通して、伝統的な言語文化と国語の特質や日本文化と中国文化とのかかわりについて考える科目です。古典作品の描かれている時代・古典作品の成立した時代の言葉に現れた文化について、関心を広げたり、現代の視点で考えたりしましょう。

この授業では、古典作品を読むことはもちろん、その作品に描かれた社会の状況、生活など、作品読解にかかわる周辺の情報の調査をしたり、作品について考えたことを発表したりすることが必要となります。

２　学習の到達目標

古典ならびに古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深めている。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：読む能力	c：知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	言語活動等の行動の観察 ノート等での予習・復習の状況の確認	ノート・レポート等の記述の確認及び分析 定期考査	ノート・レポート等の記述の確認及び分析 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	古典の言葉と現代のとのつながりについて理解する	古典語と現代語の語義の違いについての文章を読むことを通して、日本語の変遷について理解する。 （教材） 「語源と語義―はにかみ―」	○	○	◎	ａ：日本語の変遷について理解しようとしている。 ｂ：古典語と現代語の語義の違いについての文章の内容を的確に読み取っている。 ｃ：日本語の変遷について理解している。	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査
1	歌物語から社会を考察する	『大和物語』を通して、歌に詠まれた感情や考え方を読み取り、当時の社会や人間について考察する。 （教材） 『大和物語』のうち 「旅寝の夢」、「いはで思ふ」	○	◎	○	a: 歌に詠まれた感情や考え方を読み取り、当時の社会や人間について考察しようとしている。 b: 歌に詠まれた感情や考え方を読み取っている。 c:当時の社会や人間について考察している。	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査
1	伝統的な言語文化への理解を深める	「いはで思ふ」を題とした、さまざまな歌を読み比べたのち、「いはで思ふ」を題に歌を詠むことで、伝統的な言語文化の特色について理解を深める。 （教材） 『古今和歌六帖』	○	○	◎	a: 歌に詠まれた感情や考え方を読み取り、個々の歌の大意、表現上の工夫をつかもうとしている。 b: 歌に詠まれた感情や考え方を読み取り、個々の歌の大意、表現上の工夫をつかんでいる。 c: 伝統的な言語文化の特色について理解を深める。	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査

※令和３年度以前入学生用

1	和歌表現のよさをさぐる	歌論を通して、和歌表現の美しさ、深さ、おもしろさに触れるとともに、自身の考える秀歌について考えを述べる。 （教材） 『古今和歌集』仮名序 『俊頼髄脳』 『毎月抄』	○	◎	○	a:歌論に述べられている和歌表現の巧拙について的確にとらえようとしている。 b: 歌論に述べられている和歌表現の巧拙について的確にとらえている。 c: 和歌の修辞技巧の理解をふまえて、自身の考える秀歌について考えを述べている。	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査
2	古典に描かれている社会・文化を読み解く	『大鏡』に表れている、作品に描かれている社会・文化のあり方をとらえる。 （教材） 『大鏡』のうち 「時平と道真」 「道長と伊周」 「二葉の葵」	○	◎	○	a:作品に描かれている社会、文化のあり方をとらえようとしている。 b: 作品に描かれている社会、文化のあり方をとらえている。 c:作品に表れている『大鏡』の性格について理解している。	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査
2	古典に描かれている社会・文化を読み解く	『平家物語』に表れている、作品に描かれている社会・文化のあり方をとらえる。 （教材） 『平家物語』のうち 「祇王」 「横笛」	○	◎	○	a:作品に描かれている社会、文化のあり方をとらえようとしている。 b: 作品に描かれている社会、文化のあり方をとらえている。 c:作品に表れている『平家物語』の性格について理解している。	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査

※令和３年度以前入学生用

3	作品の享受	『源氏物語』について書かれた文章を読んで、その文章に表れている、社会・文化のあり方をとらえる。 （教材） 『源氏物語玉の御櫛』	○	◎	○	a:作品に描かれている社会、文化のあり方をとらえようとしている。 b: 作品に描かれている社会、文化のあり方をとらえている。 c:作品に表れている『源氏物語』の性格について理解している。	行動の観察 記述の確認及び分析 レポート試験

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。